

評価シート(令和6年度分)

基本情報

施設名	背振少年自然の家・海の中道青少年海の家	指定管理者	あゆみらい福岡市自然の家共同事業体
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日 (評価期間は令和6年4月1日～令和7年3月31日)	所管課	こども未来局こども政策部こども健全育成課

1 業務の履行に関する評価

A～C

評価項目	評価	評価の理由
1 施設の運営	C	アレルギー対応に関する改善指導の実績あり。
2 施設等の維持管理	A	改善指示・指導の実績なし
3 事業の実施	B	利用者対応に関する改善指示(口頭)の実績あり。

2 サービスの質に関する評価

A～E

評価項目	評価	評価の理由
1 施設の利用状況	C	・利用者数と利用料金収入ともに、目標値達成には至らなかったが、自然教室の日数の短縮化や天候不良によるイベント中止等の影響がある中においても両施設合計では前年度比で増加した点は評価できる。
(1) 利用者数		
(2) 収入		
(3) 特に成果をあげた事項等		
2 事業の実施状況	C	・企画事業の参加者数は、目標値にはわずかに到達しなかったが、両施設合計では前年比で増加した。 ・企画事業の参加者満足度は、実施したすべての事業で目標値を上回った。 ・自主事業の実施はなかった。
(1) 指定管理者企画事業の参加者数(達成率)		
(2) 指定管理者企画事業の参加者満足度		
(3) 自主事業の参加者数(達成率)		
(4) 自主事業の参加者満足度		
(5) 特に成果をあげた事項等		
3 利用者満足度	B	・利用者アンケートの結果、満足度は非常に高かった。 ・利用者からの意見や苦情等への対応については、会議等で共有し、随時改善を図っている。
(1) 利用者アンケートの結果		
(2) 利用者からの意見・苦情等への対応		
4 提案の実施状況	B	・天候の影響等により実施できなかったものもあるが、全ての項目において提案の大部分が実施されている。
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理運営方針		
(2) 管理運営の実施体制		
(3) 的確な管理運営のための取組		
(4) 安全・安心		
(5) 利用者に対するサービスの向上		
(6) 事業の実施計画		
(7) 学校利用への基本的な考え方		
(8) 管理に要する経費		
(9) 市の施策に寄与する取組等		
評価項目	評価	評価の理由
1 収支の実績	B	収支は両施設全体として黒字を確保した。
2 経費の縮減	B	施設の維持管理を含め、施設運営全般で経費縮減に努めた。
指導状況	不適切な行為の内容	改善状況
文書による改善指導	給食業務におけるアレルギー対応食の誤提供	食堂におけるフローの見直し、複数チェック体制の構築
B	利用者数、利用料金収入ともに両施設合計で前年度と比較し増加した。 企画事業の実施については、SNS等の活用により広報強化に努め、イベントによっては定員を上回る申込があるなど、一定の成果が認められる。また、施設の認知度向上のため、商業施設へのブース出展を積極的に行うなど、一般利用者の増加へ向けた取組みを推進した。 運動広場や自然観察園の整備をはじめ、施設の修繕等において職員の手でできることは職員自ら行い、経費縮減に努めた。 利用者アンケートによる評価は高く、日頃から様々な意見に真摯に向き合い、改善に向けて取り組んでいる。 給食業務における適切なアレルギー対応について、周知徹底を継続していただきたい。	

《評価基準・配点割合》

《項目別得点》

1 配点: 30 基準点: 21 最低: 9

A	改善指示・指導の実績無し	10 点
B	改善指示(口頭)の実績あり	7 点
C	改善指導(注意)の実績あり	3 点

20 点

2 1～3

配点: 75 基準点: 45 最低: 0

A	非常に優れている	25 点
B	優れている	20 点
C	標準	15 点
D	少し劣っている	10 点
E	非常に劣っている	5 点

50 点

2 4

配点: 25 基準点: 15 最低: 5

A	全て実施	25 点
B	ほとんど実施	20 点
C	概ね実施	15 点
D	実施が不十分	10 点
E	極めて不十分	5 点

20 点

3 配点: 20 基準点: 14 最低: 6

A	優れている	10 点
B	標準	7 点
C	劣っている	3 点

14 点

4

特筆すべき成果1項目につき 10 点加点

評価項目数・・・2 項目

20 点

5

業務の停止・改善指導等の実績による減点

▲10 点

6 配点: 150 基準点: 95 最低: 20

A	150 点以上	全ての項目の評価が「優れている」以上	114 点
B	110 点 ～ 149 点	「A」と「C」の間	
C	81 点 ～ 109 点	基準点(全ての項目の評価が「標準」)±15%	
D	21 点 ～ 80 点	「C」と「E」の間	
E	20 点以下	全ての項目の評価が「劣っている」以下	